

日独下水道写真展

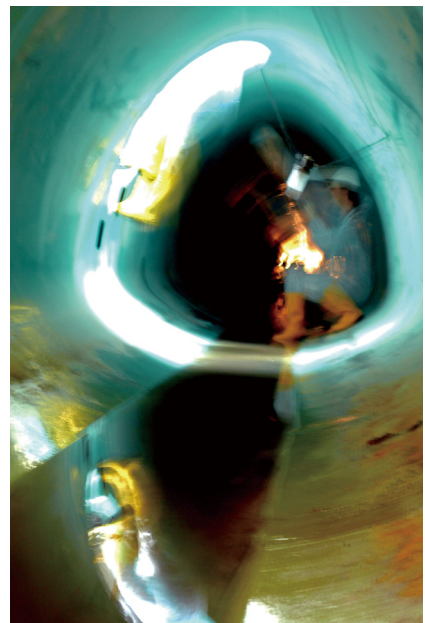
アンダーランド、ワンダーランド／ウルリヒ・ヴィンクラー あなざーわーど NAGOYA／白汚 零

【趣 旨】

下水道は、下水処理場やマンホールなどを除けば、一般市民の目に触れる機会がほとんどありません。特に下水道管きよは、一旦布設されてしまうと内部に入ることが許されないため、一般市民の目に触れる機会が皆無といっても過言ではありません。そのため、公衆衛生の確保や浸水の防除、公共用水域の水質保全という、市民生活の安心・安全を支える重要なライフラインであるにもかかわらず、下水道の建設が完了すると、興味や関心を持たれなくなってしまいます。また、下水道は今後、老朽化などに対応した適切な維持管理や改築更新を行っていかねばなりません。下水道事業に対する興味や関心が薄れていくと、それらのことが忘れられ、道路陥没や臭気の発生、公衆衛生の劣化など市民生活を脅かすことにもなりかねません。

そこで、一般市民に対して知られざる下水道の世界を見てもらい、下水道事業の重要性を理解してもらうとともに、来年、わが国と「交流150周年」を迎えるドイツとの交流をさらに深めることを目的に、ドイツのエンジニアであり写真家であるウルリヒ・ヴィンクラー氏と、写真家の白汚零氏とのコラボレーションによる「日独下水道写真展」を開催します。

日本とドイツの下水道管路施設を紹介する今回の日独下水道写真展はわが国初の試みで、「アンダーランド、ワンダーランド」をテーマとするヴィンクラー氏の写真は地下に秘められた下水道の姿を、重要な施設であると同時に一つの美としてとらえています。一方、白汚零氏の写真は、今回の写真展のために、名古屋市の下水道管路施設を被写体とする撮り下ろし作品で、下水道の世界を「あなざーわーど NAGOYA」と表現しています。なお、プロのカメラマンによる同市の下水道管路施設の写真公開も本邦初となります。



青い下水管
(ウルリヒ・ヴィンクラー)

【主 催】

(社)日本下水道協会／名古屋市上下水道局

【後 援】

ドイツ連邦共和国総領事館

【企画協力】

環境新聞社／環境新聞社 月刊下水道編集部

【開催日時】

2010年7月27～30日(下水道展10名古屋併催) AM 10:00～PM 5:00
(ただし、初日はAM 10:30～PM 5:00、最終日はAM 10:00～PM 4:00)

【開催場所】

ポートメッセなごや・交流センター
名古屋市港区金城ふ頭2-2